

第3章 この計画における目標等

本県における現状等を踏まえ、おおむね 10 年後の将来像を見据えた上で、この計画における目標を定めることとします。

1 おおむね 10 年後の将来像

おおむね 10 年後の将来像については、以下のとおりとし、県民、事業者、処理業者^{※22}、市町等、関係団体等と連携し、その実現を目指します。

- ◆ モノが資源として循環するライフサイクル全体での資源循環の取組が拡大
- ◆ 地域の特性やモノの性状等に応じて、地域における資源の循環が形成
- ◆ 気候変動対策につながる資源循環推進体制が確立
- ◆ 廃棄物・リサイクル産業が成長し、地域で新たな雇用創出、企業立地等が実現

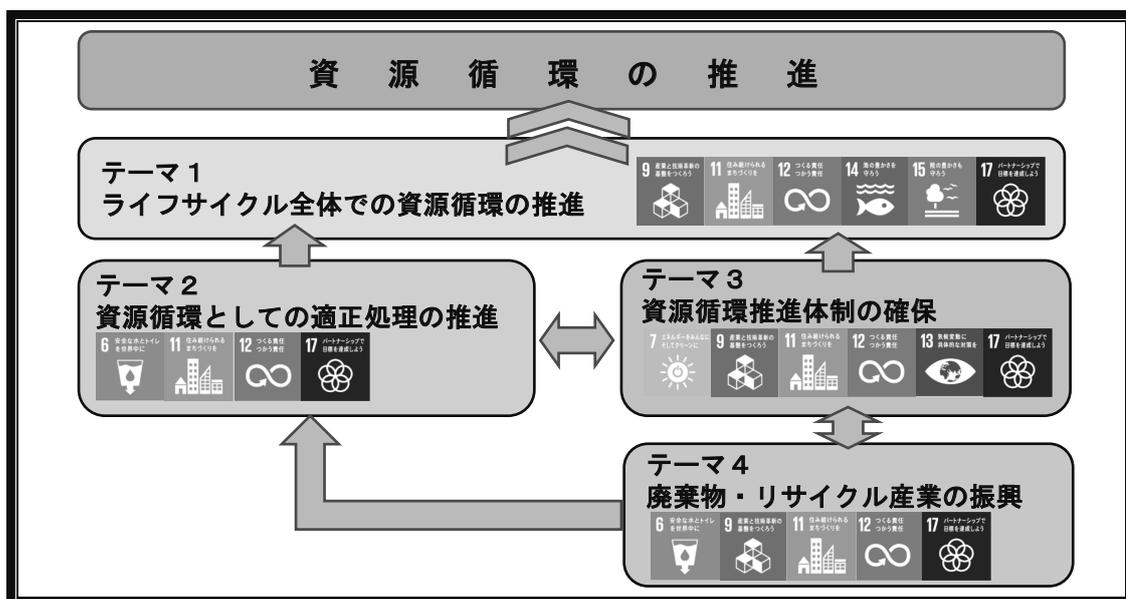
2 この計画における目標

おおむね 10 年後の将来像の実現を目指し、この計画における目標を定めた上で、その達成状況を測るための指標を設定します。

(1) テーマごとの目標等

この計画においては、「3R」の考え方を基本に「生産」や「消費・使用」などの各段階における取組を推進することで、モノが資源として適正に循環する仕組みを築き、持続可能な循環型社会^{※20}の実現を目指します。そのため、この計画では、「ライフサイクル全体での資源循環の推進」、「資源循環としての適正処理の推進」、「資源循環推進体制の確保」及び「廃棄物・リサイクル産業の振興」という4つのテーマを掲げ、それぞれのテーマごとに目標及びその達成状況を測るための指標を設定します。

なお、今回の計画策定では、1つの課題解決が、複数の課題を統合的に解決することにつながる「持続可能な開発目標^{※19}（SDGs）」の考え方をテーマごとに取り入れつつ施策を推進するため、関連する目標をテーマごとに併記しています。



<テーマ1> ライフサイクル全体での資源循環の推進



【目標】 ライフサイクル全体での資源循環の推進のため、県民及び排出事業者に対し、廃棄物をできるだけ発生させない意識の浸透を図るとともに、プラスチックをはじめとした再生利用に向けた取組を促進し、最終処分量の削減を図ります。

【指標1】 県民1人1日当たりの生活系一般廃棄物の排出量【単位：g/人・日】

現況値 (平成30(2018)年度)	予測値 (令和7(2025)年度)	目標値 (令和7(2025)年度)	目標値の考え方
672	672	650	前計画の目標値を達成できない見込みのため、前計画の目標値を据え置く。

【指標2】 県内の産業による生産額（実質）1億円当たりの産業廃棄物の排出量（農業及び鉱業に係るものを除く。）【単位：t/億円】

現況値 (平成29(2017)年度)	予測値 (令和7(2025)年度)	目標値 (令和7(2025)年度)	目標値の考え方
52.0	51.6	48.8	前計画の目標値を達成できない見込みのため、前計画の目標値を据え置く。

【指標3】 県内で排出された一般廃棄物の最終処分量【単位：千t】

現況値 (平成30(2018)年度)	予測値 (令和7(2025)年度)	目標値 (令和7(2025)年度)	目標値の考え方
57	54	53	指標1の目標値から算出した一般廃棄物の総排出量に、現況時点の最終処分量率を乗じた数値を目指す。

【指標4】 県内で排出された産業廃棄物の最終処分量【単位：千t】

現況値 (平成30(2018)年度)	予測値 (令和7(2025)年度)	目標値 (令和7(2025)年度)	目標値の考え方
87	92	84	過去10年間の平均値(89千t)から5%減とした数値を目指す。

<テーマ2> 資源循環としての適正処理の推進



【目標】 廃棄物の適正処理に向けた環境整備を進めるとともに、不適正処理に対する効果的な防止対策を行います。

【指標1】 本県から優良認定を受けた産業廃棄物処理業者の数（栃木県内業者）【単位：事業者】

現況値 (令和元(2019)年度)	予測値 (令和7(2025)年度)	目標値 (令和7(2025)年度)	目標値の考え方
37	—	61	制度開始以来、年4件で増加していることを踏まえ、増加件数の維持を目指す。

【指標 2】 県内で発生した産業廃棄物不法投棄の件数（10 t 未満を含む。）〔単位：件〕

現況値 (令和元(2019)年度)	予測値 (令和7(2025)年度)	目標値 (令和7(2025)年度)	目標値の考え方
146	—	70	現況値の半減を目指す。

<テーマ 3> 資源循環推進体制の確保



≪目標≫ 資源循環推進体制の確保を図ることで、廃プラスチック等の廃棄物の循環利用を促進します。また、非常災害時において、災害廃棄物等を円滑かつ迅速に処理できるよう、市町等、関係団体、処理業者等と連携し、そのための体制を整備します。

【指標 1】 県内で排出された一般廃棄物の再生利用率〔単位：％〕

現況値 (平成 30(2018)年度)	予測値 (令和7(2025)年度)	目標値 (令和7(2025)年度)	目標値の考え方
16.0	16.0	19.0	過去最高値(18.7%)超を目指す。

【指標 2】 県内で排出された産業廃棄物の再生利用率〔単位：％〕

現況値 (平成 30(2018)年度)	予測値 (令和7(2025)年度)	目標値 (令和7(2025)年度)	目標値の考え方
50.2	50.0	53.0	前計画の参考値を達成できない見込みのため、前計画の参考値を据え置く。

【指標 3】 県内に新設される焼却施設における熱回収設備の導入率〔単位：％〕

現況値 (令和2(2020)年度)	予測値 (令和7(2025)年度)	目標値 (令和7(2025)年度)	目標値の考え方
—	—	100	県内に新設される全ての焼却施設には熱回収設備が設置されることを目指す。

【指標 4】 大規模災害等に備えた事業継続計画^{※18}（BCP）の策定市町数〔単位：市町〕

現況値 (令和2(2020)年度)	予測値 (令和7(2025)年度)	目標値 (令和7(2025)年度)	目標値の考え方
6	—	25	焼却施設を保有・管理する全ての市町が策定することを目指す。

<テーマ4> 廃棄物・リサイクル産業の振興



≪目標≫ 廃棄物処理施設等に対する県民等の理解を促進するとともに、必要な処理施設の確保等を通じて、廃棄物リサイクル産業の振興を図ります。

【指標1】 県内の産業団地等におけるリサイクル施設の立地件数〔単位：件〕

現況値 (令和元(2019)年度)	予測値 (令和7(2025)年度)	目標値 (令和7(2025)年度)	目標値の考え方
78	—	増加を目指す	県民等の理解促進を図りつつ、地域振興策等により、リサイクル施設を誘致し、その立地の増加を目指す。

【指標2】 「とちの環エコ製品」の認定件数〔単位：件〕

現況値 (令和元(2019)年度)	予測値 (令和7(2025)年度)	目標値 (令和7(2025)年度)	目標値の考え方
119	—	137	年3件の増加を目安に、認定件数の増加を目指す。

(2) その他基本方針に準じた参考値

(1)の指標のほか、基本方針に準じて、一般廃棄物及び産業廃棄物の排出量に関する参考値を設定し、その推移を定期的に確認することとします。

ア 一般廃棄物の排出量〔単位：千t〕

現況値 (平成30(2018)年度)	予測値 (令和7(2025)年度)	参考値 (令和7(2025)年度)	参考値の考え方
664	627	612	テーマ1指標1の目標値から算出した一般廃棄物の総排出量を参考値とする。

イ 産業廃棄物の排出量〔単位：千t〕

現況値 (平成30(2018)年度)	予測値 (令和7(2025)年度)	参考値 (令和7(2025)年度)	参考値の考え方
4,380	4,623	4,292	前計画の参考値を達成できない見込みのため、前計画の参考値を据え置く。